

仕入ご担当者様 (ジャンル:メディア・社会)



晶文社 11月新刊

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11
TEL 03-3518-4940 <http://www.shobunsha.co.jp>

日本語とジャーナリズム



武田徹

四六判並製 304 頁 予価：本体 2000 円＋税 ISBN978-4-7949-6827-2 C0095

日本語を考える上で今後、定番となる、
ジャーナリズム論にして、日本文化論。

日本語は構造として、客観的な事実を伝えることができないのか？
主語があいまいで、テキストとして独立性にかけるのか？
だから、私たちの国には、永遠にジャーナリズムが根付かないのか？

日本語はジャーナリズムに 適した言葉なのか？

森有正、丸山真男、本多勝一、大宅壮一、清水幾太郎、
佐野真一、片岡義男まで、多くの論者が挑んできた
「日本語の構造とジャーナリズム」の問題を、
原発報道など様々な問題提起をしてきた
ジャーナリスト武田徹が挑む。

目次

- 1 日本語は批評やジャーナリズムの道具となりえるか
- 2 命題がたてられない—森有正の日本語論
- 3 論理的なのか、非文法的なのか—本多勝一の日本語論
- 4 「である」と「する」こと—佐野真一、丸山真男、荻生徂徠
- 5 国語とジャーナリズム
- 6 無署名性言語システムの呪縛—玉木明のジャーナリズム言語論
- 7 中立公正の理念とジャーナリズムの産業化—大宅壮一と清水幾太郎
- 8 「うち」の外へ、日本語の外へ—片岡義男の日本語論

【武田徹 (たけだ・とおる)】

1958 年生まれ。ジャーナリスト・評論家。恵泉女学園大学教授。2000 年『流行人類学クロニクル』(日経 BP 社)で
サントリー学芸賞受賞。著書に『偽満州国論』『「隔離」という病』(ともに中公文庫)、『原発問題はなぜ不毛なのか』
(中公新書ラクレ)、『原発報道とメディア』(講談社現代新書)、『暴力的風景論』(新潮社)等。現在、朝日新聞書評委員。

晶文社営業部 **FAX03-3518-4944** 配本申込み〆切 11月7日

新刊委託申込書	取次・貴店印	シリーズ「犀の教室」	申込部数
	ご担当 様	日本語とジャーナリズム 武田徹 著	冊
		【メディア・社会】四六判・304ページ 予価：本体2000円＋税 ISBN978-4-7949-6827-2 C0095 11月18日配本予定 晶文社営業部 TEL03-3518-4940	

晶文社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11 TEL 03-3518-4940 <http://www.shobunsha.co.jp>

※常時入帖しますので、長期間の陳列をお願い致します。【晶文社営業部：川上・片桐・福士・佐々木・松崎・長田】